

PROS

Proteo-Science Center, Ehime Univ.

愛媛大学プロテオサイエンスセンター PROSセミナー & 大学院特別講義

病態生理解析部門 主催

日時：平成31年1月30日(水) 18:00～

場所：医学部 基礎第一講義室

このたび、プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門主催のセミナー & 大学院特別講義を開催いたします。皆様のご来場心よりお待ちしております。

筋トレと幹細胞

大阪大学大学院薬学研究科 筋幹細胞創薬プロジェクト

独立准教授 深田 宗一郎 先生

骨格筋固有の組織幹細胞は「筋衛星細胞」と呼ばれており、新しい筋線維（骨格筋を構成する多核細胞）を生み出す事のできる唯一の細胞である。そのため、筋線維が損傷を受ける「筋ジストロフィー」や「肉離れ」などの再生過程において筋衛星細胞は必須である。一方で、resistance training（筋トレ）においても筋衛星細胞は筋線維への核の供給源として働くことが知られている。しかし、（1）筋トレ時の筋衛星細胞の挙動も、筋トレによる筋損傷程度に依存しているのか？（2）筋トレ時の特異的な環境（メカニカル刺激など）が筋衛星細胞の挙動を制御しているのか？については分かっていない。我々は筋衛星細胞の休止期・未分化維持のメカニズム研究を通じて、筋トレ時の筋衛星細胞の活性・増殖に筋損傷は必須ではなく、またその機構も筋損傷時とは異なる事を見いだしたので、その研究に至った経緯・今後の展望も含めて皆様と議論させて頂きたい。

◆お問い合わせ：プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門 内線：5925（今井）

なお、本セミナーは医学系研究科を対象とした大学院特別講義としても実施します。
大学院生は、当日配布されるレポート用紙に講義概要等を記述し、提出してください。



愛媛大学プロテオサイエンスセンター TEL:089-927-9686